

参考

「静清共同溝について」

概要

静清共同溝は、一般国道1号の静岡市中心部の激増する自動車交通に対処するため、車道の掘り返しを規制し、道路に占用する公益物件（電気、電話、工業用水）の防災機能の向上を図ると共に効率的にかつ機能的に整理集約し「道路構造の保全と円滑な道路交通の確保」を目的として、静岡市清水区辻（清水駅前交差点）～葵区南安倍（南安倍交差点）間の延長L = 12.8 kmを平成2年度に地方都市における本格的な共同溝として事業化しました。

なお、今回の工事については、静岡市葵区長沼から西門町の間約3.4 kmの区間をシールド工法にて施工するものです。

事業進捗

平成2年度事業化

旧清水市辻（清水駅前交差点）～静岡市南安倍（南安倍交差点）
延長12.8 km

平成4年度工事着手

旧清水市本郷町地内で30 mを新規工事着手

平成5年度以降

平成4年度に引き続き旧清水市内にて工事を継続、静清共同溝の延伸を図る

平成7年度

巴川・大曲交差点・大沢川を通過するシールド工法を主体とする工事に着手

平成15年度

長沼から楠新田までの3.7 kmをシールド工法にて施工。

平成17年度末

本体完成延長 L = 4.6 km うち供用延長 L = 4.5 km
(4.6 km / 12.8 km = 約36%) (4.5 km / 12.8 km = 約35%)

平成18年度末

本体完成予定延長 L = 8.3 km (8.3 km / 12.8 km = 約65%)

「本工事の概要について」

工事名：平成17年度1号静清共同溝静岡西地区工事

工期：H18.1.17～H21.3.16

施工業者：大成・三井住友特定建設工事共同企業体

工事概要： 工事区間L = 3,390m 請負費：6,037.5 百万円

シールド掘進延長 L = 3,390m

到達立坑 1箇所

分岐立坑 9箇所（到達含む）

シールド機械

直径 3.53m 全長 7.27m

泥土圧シールド工法（地下水利用が盛んな地域のため地下水汚染の懸念が少ない工法を選定）

線形要素に対応出来るよう「中折れ(3.0°)構造」

覆工

セグメントによる覆工 仕上内径 = 3.05m

線形要素

最小半径 = 100m

最急勾配 = 3.35%

最大土被 = 20.0m

最小土被 = 8.2m

（参考）

シールド掘進作業...原則土・日曜全休、日20時間稼働2交替

収容物件...西日本電信電話(株)8条、(株)エヌ・ティ・ティドコモ東海8条、中部電力(株)15条